

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時05分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00626	環境影響評価事務事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進							
予算事業	10521	01	04	01	12	03	01	01	環境影響評価事務事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享		担当者（内線）永井（2614）						
根拠法令等	環境影響評価法、大阪府環境影響評価条例、吹田市環境まちづくり影響評価条例								
事業開始年度	平成10年	直近の改正		平成24年					
改正内容	対象事業の見直し、環境影響評価の手続きの充実、環境コミュニケーションの方法の改善								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一定規模以上の事業を行おうとする事業者		
目標	環境の保全及び良好な環境の保全のための効果的な取組を推進		
結果	持続可能なまちづくりの推進		
事業概要	一定規模以上の事業の実施に先立ち、事業者が環境への影響について調査・予測及び評価を行った結果を公開し、住民意見や学識経験者から構成される審査会による科学的な審査及びこれらを踏まえた市長意見を勧告し、環境の保全及び創造のための取組を検討、実施するための制度である。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	588	482	586	161	586
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	16,928	16,282	16,690	16,265	16,476
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,928	16,282	16,690	16,265	16,476
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,928	16,282	16,690	16,265	16,476
財源計(C+D)	16,928	16,282	16,690	16,265	16,476

所属	環境政策室
事務事業番号	00626

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	環境まちづくり影響評価条例に基づき、事業者に対して指導・誘導を行う。	目標	環境影響評価書に記載された内容が正しく事業に反映されること。
成果内容	環境まちづくり影響評価条例の手続きを経ることにより形成された市の意見内容が正しく事業に反映されること。	達成状況	概ね反映されている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：本事業を実施するための費用としては、審査会の運営、住民等の意見書のとりまとめ等の制度運用に係る人件費が大半を占め、削減の余地はないため。)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は、一定規模以上の開発事業の実施に先立ち、事業者自らが環境への影響を予測・評価し、環境の保全及び創造のための取り組みを検討・実施するための制度を運用するものであり、本市のまちづくりにおいて、重要な役割を果たしていることを踏まえると、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 本事業の効果である、適正に環境配慮され持続可能な都市環境の享受は、現在及び将来の市民にとってニーズの高いものであることを踏まえると、事業費も妥当であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境影響評価事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	00626				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	00626
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>住民にとって関心の高い大規模な開発事業に対して、意見交換会等により住民は環境の保全等の観点から意見を述べる機会が確保されている。また、事業者は、計画の初期段階での手続きであることから、住民意見・市長意見を受けての計画の変更も比較的容易であり、本条例により環境コミュニケーションを図ることで、その後の手続きを円滑に進めることが可能になる。したがって、住民、事業者、行政にとってメリットのある制度といえる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時06分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00629	環境マネジメントシステム運用事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業	10524	01	04	01 12 03 02 01 環境マネジメントシステム運用事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享		担当者（内線）槍垣（2628）	
根拠法令等	「地球温暖化対策の推進に関する法律」「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」他			
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	企業連携による省エネの評価等（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市の事務事業		
目標	市の事務事業における環境配慮の推進		
結果	温室効果ガス排出量の削減		
事業概要	ISO14001の運用で培ったノウハウを基盤とした本市独自の環境マネジメントシステムであり、地球温暖化対策の推進に関する法律で策定を義務付けられている地方公共団体実行計画（吹田市役所エコオフィスプラン）に基づくものである。市の事務事業における環境配慮を徹底するため、職場ごとに省エネルギー省資源に関する目標を設定し自主的に取り組み、全庁的に内部環境監査を実施することを通じて、職員の更なる環境意識の向上を図るとともに、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量削減を進める。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	95	95	95	74	10,045
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	8,265	7,995	8,147	8,126	17,990
特定財源(C)	0	0	0	0	9,950
国	0	0	0	0	9,950
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,265	7,995	8,147	8,126	8,040
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,265	7,995	8,147	8,126	8,040
財源計(C+D)	8,265	7,995	8,147	8,126	17,990

所属	環境政策室
事務事業番号	00629

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境政策室主催の職員研修への述べ参加者数	人	目標値	300.00	300.00	300.00
			実績値	206.00	224.00	
			達成度(%)	68.70	74.70	
目標値の積算方法	過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	38.81	36.28	
			一般財源(千円)	38.81	36.28	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減率(排出量ベース)	%	目標値	2.00	3.00	4.00
			実績値	-5.80	0.00	
			達成度(%)	-290.00	0.00	
目標値の積算方法	「大阪府地球温暖化の防止等に関する条例」の届出に基づく(達成度を正確に把握するため、平成28年度目標値から削減率に変更)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	-1,378.45	0.00	
			一般財源(千円)	-1,378.45	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】事業費は適切である。(理由:本事業を実施するための費用としては、職員1名の人件費及び職員研修における講師への謝礼金が大半を占め、削減の余地はないため。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移、本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減率を踏まえると、事業成果は妥当とは言えず改善が必要である。今後、事務成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的には、職員研修による意識改善だけでなく、効果的なPDCAサイクルをまわす仕組みの改善が必要である。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。また、平成30年度は吹田市役所エコオフィスの見直しを行うことから、本業務がより有効なものとなるよう、方向性や手法について検討していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境マネジメントシステム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00629				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	80	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00629
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>持続可能性、妥当性及び効率性については概ね適正であるが、有効性については改善の余地がある。 平成30年度は、吹田市役所エコオフィスプランの見直しを行うことから、本業務がより有効なものとなるよう、方向性や手法などについて検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)12月にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択された。このことを受け、政府は「地球温暖化対策計画」を策定し、平成28年5月に閣議決定した。この計画の中で、地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題であり、最も重要な環境問題の1つとされている。

本市においても、地球温暖化対策に積極的に取り組む必要があり、平成30年度は、吹田市役所エコオフィスプランに基づく取組をさらに強化・拡充し、PDCAサイクルによる推進体制の見直しに向けた調査・検討を行うこと、また、エコオフィスプランを政府の「地球温暖化対策計画」の目標等と比べて遜色ないものに見直すこととしている。(環境省の補助金を活用する予定。)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月14日
14時48分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00630	環境審議会運営事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業	10526	01	04	01 12 03 03 01 環境審議会運営事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享		担当者（内線）辻本（2612）	
根拠法令等	吹田市環境基本条例			
事業開始年度	昭和47年度	直近の改正	平成9年度	
改正内容	吹田市環境基本条例の制定により、公害対策審議会から環境審議会に改定			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	環境基本計画並びに環境の保全及び創造に関する施策等		
目標	総合的かつ計画的な推進		
結果	現在及び将来の市民の安全で健康かつ快適な生活の確保		
事業概要	環境審議会は、市長の諮問に応じ、（1）環境基本計画に関する事（2）環境の保全及び創造に関する基本的事項及び重要事項等を調査審議し答申する。また、環境の保全及び創造に関する事項について、市長に意見を述べる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	305	101	254	101	254
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	6,442	6,259	6,356
総事業費(A+B)	4,390	4,051	6,696	6,360	6,610
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,390	4,051	6,696	6,360	6,610
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,390	4,051	6,696	6,360	6,610
財源計(C+D)	4,390	4,051	6,696	6,360	6,610

所属	環境政策室
事務事業番号	00630

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	環境基本計画の進捗管理等	目標	環境施策に関する基本的事項等について、調査審議を行い、意見を述べる。
成果内容	吹田市第2次環境基本計画(改訂版)に基づく各施策の進捗状況の把握及び評価、施策への反映を通じ、計画の着実な推進に寄与する。	達成状況	概ね達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。本事業を実施するための費用としては、審査会の運営に係る人件費が大半を占め、削減の余地はないため。 【今後の方向性】 環境審議会は環境基本条例で設置が義務付けられており、事業の実施は必須であるため継続する。

事務事業分析シート

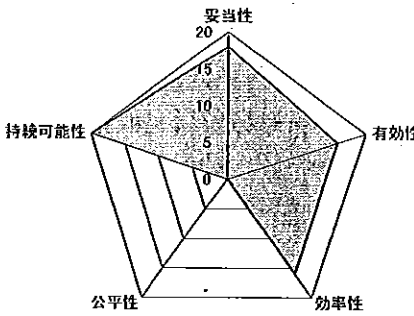
所属名	環境政策室	事業名	環境審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00630				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境審議会は、吹田市第2次環境基本計画(改訂版)の進捗管理をはじめ、環境の保全と創造に向けた市の様々な施策を審議検討する機関であり、環境基本条例で設置が義務付けられている。本審議会は効率的な運営を行っており、吹田市の環境行政の根幹の形成に大きく寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時26分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00631	環境啓発事業			
章	05	環境を守り育てるまちづくり			
節	03	循環を基調とするまちづくり			
細節	40	環境学習・環境教育の推進			
予算事業	10528	01	04	01 12 05 01 01	環境啓発事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享	担当者（内線）南方（2611）			
根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、吹田市環境基本条例				
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域住民、学校、NPO団体、事業者、行政等の様々な主体		
目標	地域における環境保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成		
結果	環境に配慮した行動やライフスタイルの確立、より良い環境づくりに向けた意識の高揚		
事業概要	環境教育・学習の場として、市主催の「すいた環境教育フェスタ」を開催している。その来場者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立や、より良い環境づくりに向けた意識の高揚を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	市民、事業者、行政で組織する運営委員会	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	400	329	350	314	343
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	8,570	8,229	8,402	8,366	8,288
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,570	8,229	8,402	8,366	8,288
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,570	8,229	8,402	8,366	8,288
財源計(C+D)	8,570	8,229	8,402	8,366	8,288

所属	環境政策室
事務事業番号	00631

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	来場者数	人	目標値	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績値	728.00	731.00	
			達成度(%)	72.80	73.10	
目標値の積算方法	実績を勘案して設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.30	11.44	
			一般財源(千円)	11.30	11.44	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 毎年、多くの参加者があり、環境保全等に関する意識の向上が図られている。	達成状況 参加者の地球環境及び地域環境の保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成が図られている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業者がイベントを実施するうえで、必要となる経費であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 成果指標に表わすことが難しい事業であるが、参加者がイベントを通して環境について学ぶことで、環境に対する意識の向上が図られていることから、事業成果は概ね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、今後も引き続き、市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進するために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00631				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

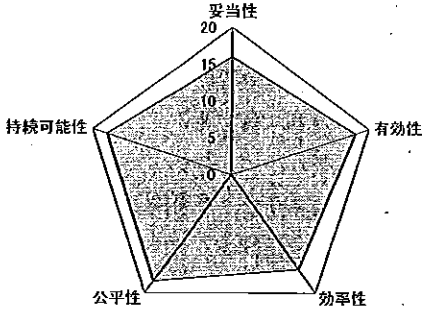
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	00631
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>環境を軸とした成長を進める上で、環境保全活動や行政・企業・民間団体等の協働がますます重要になっている。2014年に国連総会で「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」が承認されるなど、学校における環境教育の関心が高まっていることなどを踏まえ、環境教育をなお一層充実させる必要がある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時10分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00632	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10585	01	04	02	01	02	01	01	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業（清掃総務費）
所属長	佐藤 享			担当者（内線）北（2608）					
根拠法令等	再生資源集団回収実施団体に対する報償金の支給に関する要領								
事業開始年度	昭和55年度		直近の改正		平成29年度				
改正内容	仕切り伝票の様式変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内の自治会等各種団体で古紙等の集団回収を定期的に行っている団体		
目標	ごみ減量と資源の有効利用、ごみ問題の意識向上のために報償金を支給		
結果	古紙等を資源として回収及び有効利用することにより、ごみの減量、省資源、省エネルギー等の大きな効果をもたらすとともにリサイクル活動の推進を図ります。		
事業概要	再生資源の集団回収を促進し、ごみの減量と資源の有効利用、併せてごみ問題の意識向上を図るため、市内の自治会・子供会等の再生資源集団回収実施届出団体に対し、回収量1kgあたり7円の報償金を支給するものです。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	70,756	62,311	69,094	58,642	66,301
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.10	1.10	1.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,858	8,858	8,740
総事業費(A+B)	78,926	70,211	77,952	67,500	75,041
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	78,926	70,211	77,952	67,500	75,041
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	78,926	70,211	77,952	67,500	75,041
財源計(C+D)	78,926	70,211	77,952	67,500	75,041

所属	環境政策室
事務事業番号	00632

2頁
平成30年 7月 3日
16時10分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	再生資源集団回収実施団体数	団体	目標値	461.00	464.00	463.00
			実績値	463.00	455.00	
			達成度(%)	100.40	98.10	
目標値の積算方法	前年度実績以上	単位当たりコスト	総事業費(千円)	151.64	148.35	
			一般財源(千円)	151.64	148.35	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	再生資源回収量	トン	目標値	9,418.00	9,686.00	9,957.00
			実績値	8,877.00	8,357.00	
			達成度(%)	94.30	86.30	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.91	8.08	
			一般財源(千円)	7.91	8.08	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>(事業費の評価) 事業費は適切である。 今後、新規登録団体を増加させていく方向であるため。</p> <p>(指標数値の評価) おおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>(今後の方向性) 新聞や雑誌等の発行部数は減少傾向にありますが、資源化可能物を徹底分別し有効利用するためには、回収実施団体を増やしていく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	再生資源集団回収実施団体に対する報奨金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00632				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点	
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	82	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>少子高齢化による子ども会の解散等により団体数が減少傾向にある。また、メディアのIT化により新聞等の紙媒体の発行部数が減少することで回収量も減少傾向にあるが、団体の解散時には、自治会等で引き続き取り組んでもらえる様に呼びかけている。また、事業課と連携し新築マンションへの集団回収実施の呼びかけ、廃棄物減量等推進員からの未実施団体への実施の働きかけを行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時11分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00633	ごみ減量・再資源化啓発事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10586	01	04	02	01	03	01	01	ごみ減量・再資源化啓発事業（清掃総務費）
所属長	佐藤 享			担当者（内線）大澤（2616）					
根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成24年度					
改正内容	手数料改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市民及び吹田市内で活動を行う事業者や団体等		
目標	ごみに対する市民等の自主活動の強化・拡大を図るため、ごみの減量・再資源化の啓発を行います。		
結果	ごみ減量及び資源の有効利用意識の向上に一定の効果をもたらします。		
事業概要	<p>吹田市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ減量、再資源化を推進します。三者協働（市民・事業者・行政）によるごみ減量再資源化推進会議を立ち上げ、ごみ減量やライフスタイルの見直しにつながるレジ袋削減や食品ロス削減に取り組みます。また、北摂7市3町と食品スーパー9社で協定を締結し、締結後も事業者（中小スーパー、コンビニ、ドラッグ）に賛同いただけるように引き続き呼びかけを行います。地域に密着した啓発活動のため廃棄物減量等推進員各地区連絡会にごみ減量・再資源化推進活動啓発業務を委託します。</p> <p>家庭から出る廃食用油の回収拠点を拡大することにより、ごみの減量・再資源化について促進を図るとともに啓発に努めます。また、多量排出事業者に対し、一般廃棄物減量計画書に基づき、指導を行うと同時に研修会等を実施します。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	吹田市廃棄物減量等推進員地区連絡会
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	ごみ減量・再資源化推進活動啓発業務
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	478	354	367	305	582
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	16,818	16,154	16,471	16,409	16,472
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,818	16,154	16,471	16,409	16,472
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,818	16,154	16,471	16,409	16,472
財源計(C+D)	16,818	16,154	16,471	16,409	16,472

所属	環境政策室
事務事業番号	00633

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ごみ減量・再資源化啓発委託業務	地区数	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	8.00	3.00	
			達成度(%)	80.00	30.00	
目標値の積算方法	予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,019.25	5,469.67	
			一般財源(千円)	2,019.25	5,469.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境施設見学会	回	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	前年度回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,384.67	5,469.67	
			一般財源(千円)	5,384.67	5,469.67	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む) + 集団回収量	t	目標値	114,864.00	113,409.00	111,881.00
			実績値	113,508.10	113,987.02	
			達成度(%)	98.80	100.50	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.14	0.14	
			一般財源(千円)	0.14	0.14	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	再生資源集団回収量	t	目標値	9,418.00	9,686.00	9,957.00
			実績値	8,877.00	8,357.00	
			達成度(%)	94.30	86.30	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.82	1.96	
			一般財源(千円)	1.82	1.96	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>(事業費等の評価) 適切である。市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上を図るためには、啓発事業の積極的な取組が必要であるため。</p> <p>(批評数値の評価) おおむね妥当だが改善の余地はある。</p> <p>(今後の方向性) 環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、三者協働(市民、事業者、行政)連携による食品ロス削減の取組の展開、また、雑がみのリサイクル率向上に向け、多量排出占有者に対する情報提供の充実や啓発に努めるとともに、廃棄物減量等推進員と連携して、市民への雑がみ分別排出ルールを浸透していく。</p>

事務事業分析シート

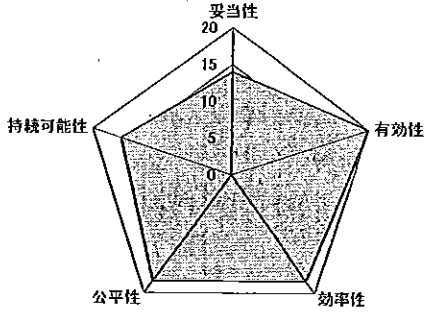
所属名	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00633				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		-b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>啓発活動を推進することにより、市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上が図られ、成果として29年度のごみ総排出量は人口増加に伴い微増しているが、分別の意識向上から資源化率は上がっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時12分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00634	廃棄物減量等推進員事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10587	01	04	02	01	03	02	01	廃棄物減量等推進員事業（清掃総務費）
所属長	佐藤 享		担当者（内線）田積（2615）						
根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例								
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	平成29年						
改正内容	ブロック別研修会を全体会に変更（活動のやりがいを見いだせるため）								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一般廃棄物の減量と適正な処理の推進に理解と熱意を有する市民のうち市長が委嘱する者		
目標	一般廃棄物の減量のための施策への協力、市民の自主的活動の推進等の活動を行います。		
結果	ごみの適正な排出の指導及び啓発活動を行うことにより、廃棄物の適正な処理を促し、資源化対策の推進を図ります。		
事業概要	地域での分別収集の指導・啓発などの自主的活動やごみの減量・再資源化の取り組みを実践する推進員を育成し、市のごみ減量施策に協力していただくことにより地域住民のごみ問題の意識向上を図ります。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	397	315	397	355	311
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	8,567	8,215	8,449	8,407	8,256
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,567	8,215	8,449	8,407	8,256
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,567	8,215	8,449	8,407	8,256
財源計(C+D)	8,567	8,215	8,449	8,407	8,256

所属	環境政策室
事務事業番号	00634

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	廃棄物減量等推進員委嘱者数	人	目標値	500.00	170.00	170.00
			実績値	422.00	362.00	
			達成度(%)	84.40	212.90	
目標値の積算方法	廃棄物減量等推進員委嘱者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19.47	23.22	
			一般財源(千円)	19.47	23.22	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	廃棄物減量等推進員全体会参加者数	人	目標値	422.00	362.00	362.00
			実績値	68.00	138.00	
			達成度(%)	16.10	38.10	
目標値の積算方法	廃棄物減量等推進員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	120.81	60.92	
			一般財源(千円)	120.81	60.92	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収	t	目標値	114,864.00	113,409.00	111,881.00
			実績値	113,508.10	113,987.02	
			達成度(%)	98.80	100.50	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.07	0.07	
			一般財源(千円)	0.07	0.07	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>(事業費等の評価) 適切である。災害でのごみ分別指導などを担う減量等推進員の活動は重要である。また、廃棄物の発生抑制及び再生利用の促進等により廃棄物の減量を推進するため。</p> <p>(指標数値の評価) おおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>(今後の方向性) ごみ減量・再資源化に関する市民の自発的な行動を促進していくためには、廃棄物減量等推進員事業を継続し、各推進員が地域でのごみ減量・再資源化の指導や啓発を適切に実施していくことが必要である。また、各地区において積極的に活動いただける方5名の推薦をしていく。</p>		

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物減量等推進員事業	事業区分	その他
事務事業番号	00634				

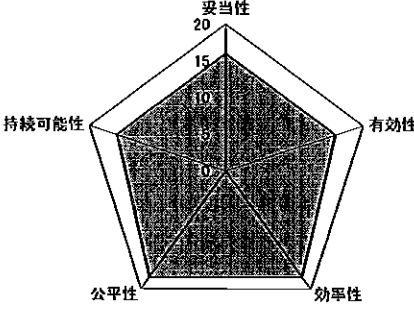
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00634
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物減量等推進員制度は、市民のごみ減量及び再資源化に対する意識向上を図る重要な施策と考えているが、自治会役員の任期の都合上、活動が1年間となるケースや、周囲の協力が得られず活動のやりがいを見いだせないケース、また自治会での認知度の低さの問題等課題がある。</p> <p>活動メニューを明確にし、各地区単位で適正な運営が図れるよう取組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
13時43分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00635	資源リサイクルセンター事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	20	廃棄物対策の推進							
予算事業	10609	01	04	02	06	01	01	01	資源リサイクルセンター事業（資源リサイクルセンター費）
所属長	佐藤 享			担当者（内線）田積（2615）					
根拠法令等	吹田市資源リサイクルセンター条例								
事業開始年度	平成4年度		直近の改正		平成25年度				
改正内容	指定管理者候補者選定委員会の設置								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内外からの来館者（年齢性別を問わない）、市民団体、行政、企業		
目標	市民工房の運営、環境問題に関する啓発事業の開催等の取組により、循環型社会及び低炭素社会についての理解と認識を深め、ライフスタイル、事業スタイルの転換を促進します。		
結果	廃棄物の減量、再資源化及び再生利用を図り、快適な生活環境づくりと資源循環型社会の形成を目指します。		
事業概要	吹田市資源リサイクルセンターは、廃棄物の減量、再資源化及び再生利用を図り、快適な生活環境づくりと資源循環型社会を形成するための拠点施設として平成4年に設立されました。平成18年度より指定管理者制度を導入しており、現在は（公財）千里リサイクルプラザを指定管理者として選定しています。市民工房の運営や、視察・見学者への対応、環境問題に関する講演会や各種イベントの開催等を行い、施設の設置目的の実現を図っています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	（公財）千里リサイクルプラザ
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	市民工房運営、教室・講座開催、施設の管理
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,536	50,212	50,468	50,146	50,449
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
総事業費(A+B)	58,706	58,112	58,520	57,969	58,394
特定財源(C)	334	454	373	387	450
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	334	454	373	387	450
市負担(D)	58,372	57,658	58,147	57,582	57,944
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	58,372	57,658	58,147	57,582	57,944
財源計(C+D)	58,706	58,112	58,520	57,969	58,394

所属	環境政策室
事務事業番号	00635

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	視察・工房見学者（工房3・5を除く）	人	目標値	13,200.00	12,700.00	12,800.00
			実績値	11,551.00	12,202.00	
			達成度(%)	87.50	96.10	
目標値の積算方法	過去3年間の実績の1割増	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.03	4.75	
			一般財源(千円)	4.99	4.72	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量（廃食用油含む）+ 集団回収量	t	目標値	114,864.00	113,409.00	111,881.00
			実績値	113,508.10	113,987.02	
			達成度(%)	98.80	100.50	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画後期改訂版に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.51	0.51	
			一般財源(千円)	0.51	0.51	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	再生資源集団回収量	t	目標値	9,418.00	9,686.00	9,957.00
			実績値	8,877.00	8,357.00	
			達成度(%)	94.30	86.30	
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.55	6.94	
			一般財源(千円)	6.50	6.89	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>(事業費の評価) 適切である。事業経費は、平成27年度より「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進」に関する啓発事業を実施した関係で増加していますが、その他の増加はなく適正と考える。</p> <p>(指標数値の評価) おおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>(今後の方向性) 認知度の向上、集客力の強化、賛同者の獲得、行動への啓発を基本方針とする中期計画を（公財）千里リサイクルプラザが平成29年3月に策定し、具現化に向け継続して取り組むことが必要。 また、事業内容に関しては、本市の委託事業と（公財）千里リサイクルプラザの自主事業の明確化を行う等精査を行う。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00635				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度(2015年度)より、持続可能な社会への転換に寄与することを目的に、「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進に関する事業」を展開しています。なお、当事業に係る予算は1,600,000円(消費税は除く)を上限としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>認知度の向上、集客力の強化、賛同者の獲得、行動への啓発を基本方針とした中期計画を指定管理者である(公財)千里リサイクルプラザが策定し、年度ごとに、PDCAマネジメントサイクルにより事業評価と進行管理を行うことで、効果的な施策の展開を図っており、資源循環型社会の形成に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時13分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00636	廃棄物処理施設整備費積立事業				
章	05	環境を守り育てるまちづくり				
節	03	循環を基調とするまちづくり				
細節	20	廃棄物対策の推進				
予算事業	10610	01	04	02	07 01 01 01	廃棄物処理施設整備費積立事業（廃棄物処理施設整備費積立金）
所属長	佐藤 享			担当者（内線）辻本（2612）		
根拠法令等	地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第1項 吹田市積立基金条例					
事業開始年度	平成5年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	廃棄物処理施設の整備資金積立て			
目標	安定したごみ処理の確保、環境負荷の軽減を図るための事業財源への充当			
結果	安定したごみ処理の確保、ごみの減量と資源回収の推進に係る事業財源の確保と軽減			
事業概要	廃棄物処理施設である、資源循環エネルギーセンター及び破砕選別工場の建設及び大規模修繕等に計画的に対応する必要があるため、基金を積立てる。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
交付先①				
交付先②				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	預金金利の積立てや会計室による債権の購入など。		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	408	408	408	426	428
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,042	1,988	2,019	2,037	2,017
特定財源(C)	408	408	408	426	428
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	408	408	408	426	428
市負担(D)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
財源計(C+D)	2,042	1,988	2,019	2,037	2,017

所属	環境政策室
事務事業番号	00636

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	廃棄物処理施設の整備費に充当する整備基金へ毎年度金利等を積み立てる。(銀行への預金や債券購入等基金の運用については、会計室が実施)	目標	廃棄物処理施設整備基金への積立て
成果内容	大規模修繕に必要な経費は、国の交付金と一般財源で賄っていたが、積み立てた基金を繰り入れることで、世代間の費用負担の公平性を図る。	達成状況	破碎選別工場延命事業への財源充当

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。本事業を実施するための費用としては、基金の運用に係る人件費が大半を占め、削減の余地はないため。</p> <p>【今後の方向性】 廃棄物処理施設の建設に係る莫大な費用は、各世代が十分に負担する必要があることから、計画的な資金計画が求められる。今後、廃棄物処理施設の建替え計画等を策定すれば、国等の交付金や起債も含めた綿密な資金計画を立てるとともに、計画的な積立を検討する。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00636				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	87	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	00636
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	廃棄物処理施設整備に要する莫大な費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立が求められる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時14分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01300	環境情報データ収集・解析事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享	担当者（内線）永井（2614）		
根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画改訂版			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	市域全体		
目標	市域全体の熱環境マップを作成し、地域別データを把握する。		
結果	熱環境データを活用し、改善策を検討・実施することで、快適で持続可能な都市を実現する。		
事業概要	重点的にヒートアイランド対策が必要な地域を指定し、開発事業者に対策の実施を指導するため、熱環境マップを作成し、その施策の成果を把握するため、継続的に市域の熱環境の状況を調査する。 前回は、平成23年に約1千万円の予算で調査を行った。今回は、対策指導の成果を把握するため期間を空けて（10年程度）、調査を行う予定である。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	なし
	■ 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	なし
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	今年度実施なし	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	環境政策室
事務事業番号	01300

2頁
平成30年 7月 3日
16時14分09秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	なし	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	なし	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市域での継続的な熱環境の状況把握	目標	都市の熱環境が改善された快適で持続可能な都市の実現
成果内容	なし	達成状況	なし

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 今年度事業費計上せず。</p> <p>【指標数値の評価】 今年度事業実施なし。</p> <p>【今後の方向性】 環境先進性の高いまちづくりを目指すため、今後も継続的にデータの集積・解析を行っていく必要があるため、事業としては継続する。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境情報データ収集・解析事業	事業区分	その他
事務事業番号	01300				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01300
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度に作製した熱環境マップを基に、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】を通じて開発事業者等へ指導・誘導を実施しており、市内のヒートアイランドの状況について継続的に把握を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時15分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01302	環境まちづくりガイドライン運用事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享		担当者（内線）永井（2614）	
根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画改訂版			
事業開始年度	平成23年	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民・事業者等		
目標	市民・事業者等に対する啓発及び環境に配慮する行動への誘導。		
結果	地球環境に配慮した行動を普及促進することにより、地球環境保全の推進を図り、持続可能な社会の実現。		
事業概要	主に環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】において、市内の開発事業者に対して、建設事業の構想段階で検討すべき環境配慮項目について、指導・誘導を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	環境政策室
事務事業番号	01302

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、事業者に対して、指導・誘導を行う。	目標	環境まちづくり方針に記載された内容が正しく事業に反映されること。
成果内容	環境まちづくり方針に係る協議により取り組まれることとなった環境取組が正しく事業に反映されること。	達成状況	概ね反映されている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 制度運用に係る人件費のみであるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】を用いて、市内の開発事業者に対して事業の構想段階で検討すべき環境への取組項目(ヒートアイランド対策や省エネルギー、緑化等)について、指導・誘導を行うものであり、持続可能な環境まちづくりにおいて重要な役割を果たしていることを踏まえると、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 本事業の効果である、適正に環境配慮され持続可能な都市環境の享受は、現在及び将来の市民にとってのニーズの高いものであることを踏まえると、事業費も妥当であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境まちづくりガイドライン運用事業	事業区分	その他
事務事業番号	01302				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01302
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>主に【開発・建築版】を用いて、市内での開発等を行う事業者に対して、環境への配慮事項98項目について、環境まちづくり方針(案)、同方針及び同実施報告書の提出を求めており、再生可能エネルギーの導入・省エネルギー機器の導入・ヒートアイランド対策の実施・緑化の推進等の誘導を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】については、29年度中に配慮項目の見直しを行い、新たに平成30年度版(全99項目)を作成、平成30年4月から運用を開始した。併せて、同ガイドラインをより円滑に運用ができるよう手引きを作成した。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時15分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01305	環境白書作成事業（一般事務事業）		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享		担当者（内線） 柏木（2626）	
根拠法令等	環境基本条例			
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成9年度	
改正内容	公害白書から環境白書に改名			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一般市民		
目標	毎年、本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ公表する。		
結果	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進		
事業概要	本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を環境白書で公表する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	433	316	389	308	389
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	433	316	389	308	389
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	433	316	389	308	389
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	433	316	389	308	389
財源計(C+D)	433	316	389	308	389

所属	環境政策室
事務事業番号	01305

2頁
平成30年 7月 3日
16時15分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	発行部数	部	目標値	500.00	500.00	0.00
			実績値	600.00	600.00	
			達成度(%)	120.00	120.00	
目標値の積算方法	発行予定数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.53	0.51	
			一般財源(千円)	0.53	0.51	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進	達成状況 環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:周知に必要な冊子の発行部数は妥当であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 環境白書の冊子の作成は必要であり、周知に必要な冊子の発行部数についても、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 環境白書は、吹田市環境基本条例において、作成および公表が義務付けられており、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

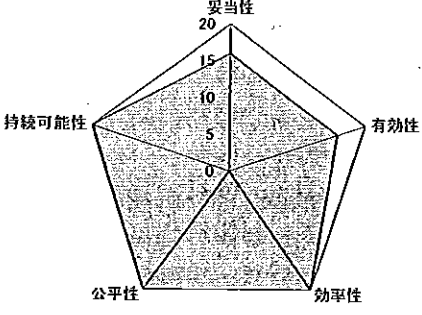
所属名	環境政策室	事業名	環境白書作成事業(一般事務事業)	事業区分	その他
事務事業番号	01305				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境白書は毎年、本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況等を取りまとめ、冊子及びホームページにおいて、公表している。また、カラー写真及び図など多く使用し、市民にとって読みやすくするため、毎年改善を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国及び大阪府は毎年継続して、環境白書を発行している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時28分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01306	吹田市環境基本計画見直し事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享	担当者（内線） 柏木（2626）		
根拠法令等	吹田市環境基本条例			
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市第2次環境基本計画（環境の保全と創造に関連する施策及び事業）		
目標	社会情勢や環境の変化などをふまえた実効性のある計画とする。		
結果	環境全般に関する本市の方針の確認、検討がなされ、基礎自治体としての役割が明確になり、環境の保全と創造に関連する施策及び事業が効果的に推進され、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図る。		
事業概要	吹田市環境基本計画を、社会情勢や環境の変化などをふまえ、概ね5年ごとに見直しを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	5,321
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	5,321
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	5,321
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	5,321
財源計(G+D)	0	0	0	0	5,321

所属	環境政策室
事務事業番号	01306

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	社会状況を踏まえながら、環境基本条例に基づき、概ね5年ごとに、計画の見直しを行う。	目標	社会状況を反映した環境の保全及び創造に関する基本的な計画を策定する。
成果内容	見直しに際して、庁内検討会議及び環境施策調整推進会議により案を作成するとともに、環境審議会による審議、案に対するパブリックコメントを行い、改訂版に反映した。	達成状況	平成26年3月に改訂版を策定した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費の評価】 今年度事業費計上せず。</p> <p>【今後の方向性】 社会情勢や環境の変化などを踏まえて、計画の見直しが必要となるため、事業としては継続する。</p>		

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	吹田市環境基本計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01306				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性をはじめ各視点からの評価結果については、概ね適正です。実施の方向性や手法など、様々な検討が可能であると考えられることから、今後も、有効性及び効率性の向上に取り組む余地がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成30年(2018年)4月に国の第5次環境基本計画が閣議決定された。本市においては、平成30・31年度の2か年にわたって、平成32年度から10年間の計画期間を設定した吹田市第3次環境基本計画の策定を予定している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
13時48分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01446	すいた環境サポーター養成講座運営事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	40	環境学習・環境教育の推進							
予算事業	11546	01	04	01	12	03	04	01	すいた環境サポーター養成講座運営事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享				担当者（内線）廣瀬（2611）				
根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画								
事業開始年度	平成27年度	直近の改正			平成27年度				
改正内容	受講対象者をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とし、受講後は「すいた環境サポーター」として本市の環境活動に参画する人材を育成することを目的としている。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	環境活動に関心のある18歳以上の人（高校生を除く）		
目標	それぞれの家庭や地域において環境教育を実践するとともに、本市の各種環境イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成すること。		
結果	環境教育の推進。		
事業概要	「すいた環境サポーター養成講座」の受講者が、受講後、それぞれの家庭や地域、組織の中で環境教育を実践するとともに、「すいた環境サポーター」として登録し、各種イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成することを目的としている。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	公募型プロポーザルにより決定
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	講座内容の企画、講師への依頼、講座の運営
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	909	747	814	735	765
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.10	1.10	1.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,858	8,606	8,740
総事業費(A+B)	9,079	8,647	9,672	9,341	9,505
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,079	8,647	9,672	9,341	9,505
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,079	8,647	9,672	9,341	9,505
財源計(C+D)	9,079	8,647	9,672	9,341	9,505

所属	環境政策室
事務事業番号	01446

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受講者数	人	目標値	30.00	30.00	30.00
			実績値	29.00	27.00	
			達成度(%)	96.70	90.00	
目標値の積算方法	講座会場の収容人数と運営体制を勘案して算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	298.17	345.96	
			一般財源(千円)	298.17	345.96	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「半分以上の受講」を条件とした修了者数(人) 「すいた環境サポーター」登録数)	人	目標値	30.00	30.00	30.00
			実績値	13.00	11.00	
			達成度(%)	43.30	36.70	
目標値の積算方法	募集定員である30名全員が修了するものとして算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	665.15	849.18	
			一般財源(千円)	665.15	849.18	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業者が、契約期間中に行うカリキュラムを達成するために必要となる経費であるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は概ね妥当だが、改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、現状では、受講対象者をシニア層に限定した「すいたシニア環境大学」とは異なり、18歳以上と幅を広げ実施しているが、学生や子育て世代の参加を誘導するために、講座内容や開催曜日などの検討を行い、また、受講生が継続して受講したいと思うカリキュラムの検討が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果がやや出ていないが、事業費は妥当であり、環境教育の継続性を担保するために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	すいた環境サポーター養成講座運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01446				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	74	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
	a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01446
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、環境問題全般を網羅的に学ぶことができ、修了生は、それぞれの家庭や地域において環境教育を実践している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性に関して、教育現場や地域では環境教育サポーター人材に対するニーズはあるものの、受講者数が定員割れであり、講座内容や曜日設定について検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事業名称変更前の「すいたシニア環境大学運営事業」では、単独随意契約にて委託事業者を決定していたが、講座内容も精査しながら幅広い世代に魅力的な講座となるよう、公募型プロポーザルで事業者を選定している。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時17分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01447	地球温暖化対策新実行計画見直し事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享	担当者(内線)	柏木(2626)	
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画			
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市地球温暖化対策新実行計画		
目標	社会情勢や環境の変化などをふまえた実効性のある計画とする。		
結果	市が掲げる目標の達成に向けて、市民や事業者等との連携・協働のもとで温暖化対策に関する施策及び計画を推進する。		
事業概要	吹田市地球温暖化対策新実行計画を、社会情勢や環境の変化などを踏まえ、概ね5年ごとに見直しを行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化を防止するため、社会情勢を踏まえながら、温暖化対策の推進に関する法律に基づき、低炭素社会を実現するために計画の見直しを行う。	目標	社会情勢を反映した、地球温暖化対策に関する計画を策定する。
成果内容	見直しに際して、庁内検討会議及び環境施策調整推進会議により案を作成するとともに、環境審議会による審議、案に対するパブリックコメントを行い、改訂版に反映した。	達成状況	平成28年3月に改訂版を策定した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 今年度事業費計上せず。</p> <p>【今後の方向性】 社会情勢や環境の変化などを踏まえて、計画の見直しが必要となるため、事業としては継続する。</p>		

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	地球温暖化対策新実行計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01447				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	平成27年度に策定した改訂版を基に、地球温暖化対策を推進している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

平成27年(2015年)12月にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択された。このことを受け、平成28年5月に地球温暖化対策計画が閣議決定されている。この計画の中で、地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題であり、最も重要な環境問題の一つとされている。また、地球温暖化を防止することは、人類共通の課題とされている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時18分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01448	アジェンダ21すいた推進事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進							
予算事業	11569	01	04	01	12	03	05	01	アジェンダ21すいた推進事業（環境保全費）
所属長	佐藤 享				担当者（内線） 南方（2611）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市民、吹田市内事業者、市民団体、NPO団体		
目標	持続可能な社会の実現をめざす三者協働組織「アジェンダ21すいた」の推進		
結果	地球環境の保全、持続可能な社会の構築		
事業概要	持続可能な社会の実現に向け、市民、事業者、行政が協働し吹田市第2次環境基本計画（改訂版）を実践する組織である「アジェンダ21すいた」の取組の推進を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	■ 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	「アジェンダ21すいた」組織
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	510	510	510	508	510
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.10	1.10	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,858	8,858	7,945
総事業費(A+B)	8,680	8,410	9,368	9,366	8,455
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,680	8,410	9,368	9,366	8,455
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,680	8,410	9,368	9,366	8,455
財源計(C+D)	8,680	8,410	9,368	9,366	8,455

所属	環境政策室
事務事業番号	01448

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アジェンダ21すいた会員数	人	目標値	120.00	120.00	120.00
			実績値	71.00	71.00	
			達成度(%)	59.20	59.20	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	118.45	131.92	
			一般財源(千円)	118.45	131.92	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市域の年間温室効果ガス排出量	千t-CO ₂	目標値	1,315.00	1,315.00	1,315.00
			実績値	2,232.00	2,123.00	
			達成度(%)	169.70	161.40	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.77	4.41	
			一般財源(千円)	3.77	4.41	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:アジェンダ21すいたの活動を担保するのに必要な経費であるため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移から、アジェンダ21すいたの活動が市域の年間温室効果ガス排出量削減の一助となっていると思われることから、事業成果は概ね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果がやや出ていないが、事業費は妥当なため、吹田市第2次環境基本計画(改訂版)の推進する組織として、今後も本市と協働し、当該計画の更なる具現化を進める。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	アジェンダ21すいた推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	001448				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>「アジェンダ21すいた」は持続可能な社会を実現することを目標とした市民・事業者・行政の三者協働の組織であり、設立後12年が経過した。平成27年度より、組織の目的を「アジェンダ21すいた(計画)」(平成26年度末をもって終了)の推進から、吹田市第2次環境基本計画(改訂版)の実践へと改正を行い、環境教育の実践など、より具体的な三者が連携した協働事業を進めているところであるが、今後、事業の目的をより効果的に達成するために、さらなる活動の活性化を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時20分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01487	大学省エネルギーワーキング事務事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	03	循環を基調とするまちづくり		
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進		
予算事業				
所属長	佐藤 享	担当者（内線）柏木（2626）		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画、吹田市地球温暖化対策新実行計画			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内の大学・研究機関		
目標	大学・研究機関における省エネルギーの推進		
結果	吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）等に定める温室効果ガス削減目標の達成		
事業概要	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画（改訂版）」「吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）」において、平成32年度（2020年度）までに市域の温室効果ガス排出量を平成2年度（1990年度）比25%以上削減するという目標を掲げている。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めています。本市が事務局を務めている。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	環境政策室
事務事業番号	01487

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	会議開催	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	50.00	50.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	それぞれの事業活動に共通する課題への取り組みでもらうために、他大学・研究機関の効果的な取組を参考にするなど、情報交換の場として活用している。
	達成状況
	ワーキンググループでの情報交換を参考にし、各大学・研究機関で取組を進めてる状況。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 制度運用に係る人件費のみであるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 省エネルギーについての各大学・研究機関の取り組みを情報交換・共有することによって、省エネルギーについての意識を高めているため、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 本事業の効果である、温室効果ガス削減目標の達成は、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を確保することにつながることを踏まえると、今後も大学・研究機関との連携が必要であり、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	大学省エネルギーワーキング事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	01487				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	76	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01487
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本市は、5大学1研究機関が立地する国内有数のアカデミックな都市であり、大学及び研究機関は事業者として温室効果ガスの排出量も大きいことから、他市以上に大学と行政が連携した環境まちづくりが必要とされている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画(改訂版)」「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」において、平成32年度(2020年度)までに市域の温室効果ガス排出量を平成2年度(1990年度)比25%以上削減するという目標を掲げている。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関に事業概要によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めており、今後も連携を強化していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、平成28年(2016年)には米中に続き我が国でも批准された。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としている。今後は、国内をはじめ国際的にも、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時20分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01612	一般廃棄物処理基本計画見直し事業				
章	05	環境を守り育てるまちづくり				
節	03	循環を基調とするまちづくり				
細節	20	廃棄物対策の推進				
予算事業	11677	01	04	02	01 99 99 99	一般廃棄物処理基本計画見直し事業（清掃総務費）
所属長	佐藤 享				担当者（内線）倉本（2616）	
根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					
事業開始年度	平成6年度	直近の改正	平成28年度			
改正内容	吹田市一般廃棄物処理基本計画 後期改訂版を作成					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	一般廃棄物の減量等に関する事項		
目標	生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源が有効利用されるリサイクル社会の形成を図ります。		
結果	市民の健康で快適な生活環境の確保		
事業概要	循環型社会形成に関わる法律や条例と整合性を保ちつつ、吹田市第3次総合計画や吹田市第2次環境基本計画（改訂版）を上位計画とし、吹田市地球温暖化対策新実行計画等を関連計画として、吹田市のごみ減量や適正処理の基本方向・基本施策を定めました。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,586	7,394	0	0	0
人件費職員数(人)	1.20	1.20	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	9,804	9,480	0	0	0
総事業費(A+B)	17,390	16,874	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	17,390	16,874	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,390	16,874	0	0	0
財源計(C+D)	17,390	16,874	0	0	0

所属	環境政策室
事務事業番号	01612

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	審議会開催回数	回	目標値	3.00	0.00	0.00
			実績値	4.00	0.00	
			達成度(%)	133.30	0.00	
目標値の積算方法	開催見込み回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,218.50	0.00	
			一般財源(千円)	4,218.50	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一般廃棄物の減量等に関する施策の充実	なし	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	リサイクル推進の一環としてペットボトルの再資源化拡充
	達成状況
	ストックヤードの整備を完成

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>(事業費等の評価) 適切である。吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例に基づき、市長の諮問に応じ、一般廃棄物の減量等に関する事項について調査、審議を行うため。</p> <p>(指標数値の評価) おおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>(今後の方向性) 吹田で育まれた豊かな人的・社会的資源を活かし、市民・事業者・行政の三者協働、新しく市民として加わる人々のコミュニティ活動への参加など、各々が主体的に活動することで、限られた資源の有効利用のため、発生抑制を最優先とした環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指す。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	一般廃棄物処理基本計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01612				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01612
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本計画に基づきごみ減量や適正処理の取組などの施策を実行していくとともに、より一層のごみ減量に向けた取組を継続的に展開していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
13時57分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01750	生物多様性保全施策推進事業			
章	05	環境を守り育てるまちづくり			
節	02	自然と共生するまちづくり			
細節	21	自然環境保全意識の普及・啓発／学習機会の提供及び情報の整備・			
予算事業	11672	01	04	01 12 03 08 01	生物多様性保全施策推進事業（環境保全費）
所属長	佐藤 亨	担当者（内線）廣瀬（2611） 柏木（2626）			
根拠法令等	吹田市環境基本条例、環境基本計画				
事業開始年度	平成29年度	直近の改正			
改正内容	なし				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	地域住民、学校、NPO団体、事業者、行政等の様々な主体		
目標	市民の生物多様性に対する意識の向上、地域循環共生圏の考えに基づき経済性を伴った交流による自然環境の保全や活用法の構築		
結果	生物多様性の保全、自然環境の保全、経済性を伴った里と街の交流の構築		
事業概要	市民が生物多様性の保全を理解し、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルを実践することを目指し、啓発等を行う。 また、能勢町と参画している環境省の「地域循環共生圏構築検討業務」により、里と街の経済性を伴った交流により、自然環境の保全や活用法を検討する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	一部、環境省「地域循環共生圏構築検討業務」により実施	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	250	259	163
人件費職員数(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	0	0	8,052	7,823	7,945
総事業費(A+B)	0	0	8,302	8,082	8,108
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	8,302	8,082	8,108
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	8,302	8,082	8,108
財源計(C+D)	0	0	8,302	8,082	8,108

所属	環境政策室
事務事業番号	01750

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フォーラムの実施	回	目標値	0.00	1.00	1.00
			実績値	0.00	1.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	年間の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	8,082.00	
			一般財源(千円)	0.00	8,082.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	まちなか水族館市民ボランティア活動回数	回	目標値	0.00	40.00	0.00
			実績値	0.00	40.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	週一回の清掃活動	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	202.05	
			一般財源(千円)	0.00	202.05	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	フォーラムの観客数	人	目標値	0.00	150.00	200.00
			実績値	0.00	322.00	
			達成度(%)	0.00	214.70	
目標値の積算方法	受付時の集計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	25.10	
			一般財源(千円)	0.00	25.10	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	まちなか水族館市民ボランティア数	人	目標値	0.00	20.00	20.00
			実績値	0.00	19.00	
			達成度(%)	0.00	95.00	
目標値の積算方法	登録人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	425.37	
			一般財源(千円)	0.00	425.37	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は、適切である。(理由: 生物多様性に関する講演や啓発冊子の作成に必要な経費であるため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値を踏まえると、フォーラムの観客数が目標値を大きく上回っていることから、事業成果は現状で妥当である。また、まちなか水族館市民ボランティア数についても概ね目標人数に近い登録数があり定期的に活動を行っている。これらのことから、事業成果は現状では妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、能勢町と連携して取り組む「地域循環共生圏構築検討業務」(環境省採択)や、市民が集まる空間に在来生態系を再現した水槽を展示し、生物多様性について考えるきっかけにする等、幅広く生物多様性保全や自然環境保全のための事業に取り組んでいる。これらのことから、継続的に実施する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	生物多様性保全施策推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	1750				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	1750
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生物多様性について考えるきっかけの一つとして、市民が集まる空間に在来生態系を再現した水槽を展示しており、来庁者にも好評である。また、生物多様性の冊子を作成し、公共施設等での配架や、各種のイベント等にて配布することで、生物多様性に関する市民の理解が深まってきたと思われる。また、能勢町との連携事業「地域循環共生圏構築検討事業」(環境省採択)においても、経済的交流により里の自然環境保全や活用を検討することで、生物多様性の保全につながるため、必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
15時22分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01751	地球温暖化対策新実行計画管理運用事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	03	循環を基調とするまちづくり							
細節	30	総合的・計画的な環境施策の推進							
予算事業	11674	01	04	01	12	03	06	01	地球温暖化対策新実行計画管理運用事業（環境保全費）
所属長	佐藤 亨				担当者（内線）廣瀬（2611）				
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画、吹田市地球温暖化対策新実行計画								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市、市民及び事業者		
目標	市域の年間温室効果ガス排出量の削減		
結果	地球温暖化の防止		
事業概要	平成27年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）に基づき、市民に対する地球温暖化問題の啓発、事業者に対する環境まちづくりの誘導等を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	594	591	40	47	40
人件費職員数(人)	2.00	2.00	1.00	1.00	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	8,052	7,823	3,973
総事業費(A+B)	16,934	16,391	8,092	7,870	4,013
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,934	16,391	8,092	7,870	4,013
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,934	16,391	8,092	7,870	4,013
財源計(C+D)	16,934	16,391	8,092	7,870	4,013

所属	環境政策室
事務事業番号	01751

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市域の年間温室効果ガス排出量	千t-CO ₂	目標値	1,315.00	1,315.00	1,315.00
			実績値	2,232.00	2,123.00	
			達成度(%)	169.70	161.40	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.34	3.71	
			一般財源(千円)	7.34	3.71	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市域の太陽光発電システム設備容量	千kW	目標値	22,000.00	22,000.00	22,000.00
			実績値	14,040.00	15,305.00	
			達成度(%)	63.80	69.60	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.17	0.51	
			一般財源(千円)	1.17	0.51	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民や事業者に対して地球温暖化問題の啓発を行っている。平成28年度に引き続き、平成29年度も学生と協働して子育てサロンやイベント等での啓発の取組に力を入れた。	目標	市域の年間温室効果ガスの削減。
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は、適切である。(理由：地球温暖化に関する啓発冊子の作成経費であるため)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、イベント等での啓発を行うことで、市域の年間温室効果ガス排出量の削減、市域の太陽光発電システム設備容量の増加の一助となっていると思われることから、事業効果は概ね妥当である。しかし、更なる啓発を行うことで更に効果が上がるとと思われるため、引き続き、啓発に力を注ぐ必要がある。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果がでており事業費も適正であるため、継続すべきである。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としており、今後は、本市においても、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にあることから、継続的に啓発を行う必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	地球温暖化対策新実行計画管理運用事業	事業区分	その他
事務事業番号	1751				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	1751
-----	-------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)に基づき、市民に対する地球温暖化問題の啓発、事業者に対する環境まちづくりの誘導を行った。平成28年度に引き続き、平成29年度についても、市民・学生と協働した啓発の取組に力を入れた。幅広い世代に対して、より効果的かつ効率的な啓発を行う方法について検討する余地がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、平成28年(2016年)には米中に続き我が国でも批准された。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としている。今後は、国内をはじめ国際的にも、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にある。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月 3日
16時22分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009010000	環境政策室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01752	森林保全事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	02	自然と共生するまちづくり							
細節	10	自然とのふれあい空間の保全と創造							
予算事業	11675	01	04	01	12	03	07	01	森林保全事業（環境保全費）
所属長	佐藤 亨			担当者（内線）	柏木（2626）				
根拠法令等	森林法								
事業開始年度	不明	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内の風致保安林		
目標	市町村森林整備計画の策定と風致保安林の保全整備		
結果	健全な森林の保全		
事業概要	<p>森林法に基づいて大阪府が策定する地域森林計画において、市内3か所の森林が風致保安林に指定されている。この風致保安林に対して市町村森林整備計画を策定する。また、病害虫による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の積極的な保全整備に努めている。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府森林組合三島支店
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		森林病害虫等防除業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,179	1,082	1,882	532	985
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.70	0.30	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	5,637	2,416	3,973
総事業費(A+B)	4,630	3,452	7,519	2,948	4,958
特定財源(C)	1,410	551	1,411	138	440
国	0	0	0	0	0
府	1,410	551	1,411	138	440
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,220	2,901	6,108	2,810	4,518
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,220	2,901	6,108	2,810	4,518
財源計(C+D)	4,630	3,452	7,519	2,948	4,958

所属	環境政策室
事務事業番号	01752

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	ナラ枯れの被害が発生している風致保安林に、伐倒くん蒸及び樹幹注入処理を実施した。	目標	健全な森林の保全
成果内容	伐倒くん蒸処理 5㎡ 樹幹注入処理 700孔	達成状況	森林に対する病害虫防除事業の効果は直ちにあらわれるものではなく、継続的な調査と防除を実施する必要がある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:本事業を実施する費用としては、森林病害虫防除法に基づく森林病害虫防除及び駆除に係るものであるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は、吹田市森林計画対象地域の病害虫による枯死を防ぎ、本市の貴重なみどりを守る役割を果たしていることを踏まえると、現状で妥当であり、改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 本事業の効果である健全な森林の保全は、環境基本計画の目標のひとつでもある市民に親しまれるまちの形成につながることを踏まえると、事業費も妥当であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	森林保全事業	事業区分	その他
事務事業番号	01752				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	01752
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>森林保全に対する事業の重要性が増しており、市町村森林整備計画の策定や病虫害による枯死防除措置等、今後においても継続して行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>一部の森林病虫害等の防除措置には、国庫補助(1/2)と府補助(1/4)が交付される。</p>
